

学校名 秩父市立久那小学校
所在地 秩父市久那2183番地1
電話 0494-22-1530

1 本校の概要

本校は、秩父市の西部に位置する学級数7、児童数66名の小規模校である。コロナ禍の今年度は、読書活動も制限されたが、図書主任と学校図書館司書教諭補助員を中心に感染症対策を講じながら創意工夫した学校図書館等の整備や児童の読書習慣定着、読書意欲の向上を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ① コロナ禍における読書活動の推進
- ② 読書に親しむ態度や読書習慣化に係る取組
- ③ 環境整備等の工夫

(2) 実践の概要

ア 臨時休業期間中の学校図書の貸出と動画配信
4・5月の臨時休業期間でも本を読めるよう、個々に応じておすすめの本を週ごとに選書して封筒に入れ、各担任の協力を得ながら全家庭へのポスティングを実施した。また、教職員で人形劇の動画（日本語版と英語版）を各家庭に動画配信し、家庭読書と英語教育の一助にってもらう工夫を行った。

イ 図書委員会の取組

図書委員の児童が、おすすめの本の紹介や全校児童への読み聞かせをしたり、先生方に「おすすめの本」を聞いて掲示したりして、全校児童の読書に対する興味・関心を高めた。



ウ 読書強化月間の取組

6月と11月を「読書月間」として、発達段階に応じて読む冊数目標を定め、目標達成児童には「手作りブックマーク」をプレゼントするなど、100%達成に向けて意欲喚起を図った。また、家族読書期間の設定や読書感想文の発表などを実施し、質の向上に努めている。家族読書期間後には、保護

者の感想を図書だよりで紹介し、読書の輪を家庭や地域に広めている。



エ ボランティアや市立図書館との連携

月に一度、地域ボランティアの方に季節や学年に合った本の読み聞かせをしていただいている。また、市立図書館司書の方と連携し、「お話の会」をしたり、月に一度の移動図書館「しばざくら号」を活用したりして、より多くの本と出会い、豊かな心を育める機会にしている。



オ 階段やオープンスペース等の環境整備の工夫
図書室前や階段等のスペースを活用して、新刊の紹介をしている。また、オープンスペースにソファを設置し、児童が手にした本をリラックスして読めるように工夫した。



カ 読み聞かせと朝読書

毎週水曜日の朝の10分間に、司書教諭補助員による読み聞かせや朝読書を行い、読書の習慣化を定着させている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア コロナ禍の外出自粛も後押しし、読書への関心が高まり、読書量が増えた。
- イ 本を手にすることが増え、児童間の話題に「読書」が登場することが多くなった。

(2) 課題

感染症対策を講じながら、学校全体のスペースを活用して読書環境の充実に努めていく。

(3) おわりに

取組の成果から、本に興味をもち、本の楽しさに気付く児童が増えている。また、家族読書週間の感想で保護者からも子供の変容が聞かれるようになった。今後も読書活動を推進させ、児童と本との出会いを増やしていきたい。